

モーターボート競走事業に係る地方公営企業法適用後の報告について

1 経過

今年度4月から地方公営企業法を一部適用し、公営企業会計制度への移行を行いました。

移行後、6ヶ月を経過し、上半期を終えたことに伴い、モーターボート競走事業に係る地方公営企業法適用後の業務状況と共に、売上状況等について報告します。

2 業務の状況

1) 資産の運用

企業会計となり、資金調達および資金運用を独立して行うこととなりました。資金計画策定の結果、資金不足に陥る恐れが少なかったことから、基金相当分を運用に回すことが出来ました。

参考：運用利息（年間見込）865千円（公営競技施設整備基金残高11億9千8百万円）

2) 会計システムの稼働状況

会計システムについては、複式簿記に対応したシステムを導入する必要があり、平成29年度予算編成時からモーターボート競走事業独自で会計システムを稼働させております。

4月以降、執行管理システムが本格稼働しておりますが、混乱はなく、安定稼働出来ております。

3) 例月現金出納検査の状況

地方公営企業法の適用に伴い、地方自治法第235条の2の規定に基づく例月現金出納検査を、監査委員による対面方式で1回、書面方式で4回実施され、いずれも計数上の誤りは認められませんでした。

3 売上状況（9月末時点）

1) 本場の売上状況

(単位：百万円)

レース	期間	売上実績	予算見込	見込との差
GIびわこ大賞	7月25日～30日	4,188	4,650	△462
GII秩父宮妃記念杯	5月16日～21日	2,552	2,730	△178
GMIIIオールレディース	8月11日～16日	3,762	2,880	882
ビナちゃんカップ	4月29日～5月4日	872	930	△58
その他一般戦		9,133	7,918	1,215
合計	4月1日～9月30日	20,507	19,108	1,399

レースによって差はあるものの、全体としては予算見込よりも上回っています。

しかしながら、特に第4四半期にGⅠ(近畿地区選)およびGⅡ(レディースオールスター)といったグレードレースを控えていることもあり、それらの売上次第によっては大きく状況が変わってくる可能性があります。

2) 場外発売の売上状況

	予算見込	9月末実績	達成率
発売日数	254日	138日	54.3%
受託発売金額	3010百万	1523百万	50.6%

場外発売(他場のレースを受託発売すること)については、9月末時点において、発売日数に比較して受託発売金額の達成率が低い傾向にありますが、年末に発売規模の極めて大きなグレードレースが控えていることに加え、発売日数の拡大に伴う受託発売金額の増加を見込んでおります。

4 発売日数の拡大について

BOATRACEびわこでは、昨年度10月に外向発売所「レイクルびわこ」をオープンし、場外発売につき、小規模な発売体制による低コスト運営が可能となりました。

従来、騒音、防犯、治安維持等の理由により、年間の発売日数を254日とするよう地元と同意しておりましたが、日数拡大に向けた地元交渉の末、今年度を280日、来年度を300日にすることが可能となりましたことから、場外発売日数を増加し、さらなる収益の拡大に努めます。概ね1日あたり60万円程度の収益拡大を見込んでおります。